

発行者名	東京書籍	帝国書院
<p>調査の観点</p> <p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) 「地図のなぞとき」では、都内を事例地として導入時での地図の約束を分かりやすく示している。 (2) 都道府県の特徴を示している。 (3) 東京都の扱いは丁寧だが、他の部分は普通である。 (4) 各ページに地図の読み方についての設問がある。</p>	<p>(1) 地図の約束、使い方が初めに示され、地形・産業・交通等をていねいに読み取らせる工夫がある。 (2) 地図としての情報量が豊富である。各州のページでは国旗の扱いが充実している。 (3) 同じ縮尺の日本、東京都など大きさの比較がしやすい配慮がある。 (4) 世界遺産や地理上の世界一が表示され、児童の興味・関心を引き出す工夫がある。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) ・地方図、主な都道府県図と拡大図の配列が使いにくい。 ・都道府県図が事例に即した鳥瞰図、イラストマップ、分布図、土地利用図などは工夫がある。 (2) 冒頭に東京都の地図があり、東京の児童を意識した作りである。 (3) 地球のまわりに宇宙をイメージさせるページがある。</p>	<p>(1) 日本全図、地方地図と拡大図、世界地図と配列されて使いやすい。例えば、東京の水源を追っていく学習で、東京の拡大図、東京とそのまわりの県図、関東地方図と順次見ることができる。 (2) 東京都の中心部が見やすい。 (3) 写真の場所が地図上に示され、児童の興味・関心を引く工夫がなされている。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) 地図上の文字は見やすい。県別のページで描かれているので、周囲との比較がしにくい。 (2) 淡い色調で土地の高低が明確でないが、等高線が示されている。</p>	<p>(1) ・地図上の文字は見やすい。 ・土地の高低も見やすい配色である。 (2) ・印刷色が濃く、見やすい。 ・拡大図の色調はやや強いところがある。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 都道府県別区分図が見付けにくい。 (2) 統計資料や索引は色分けされ、見やすい工夫がある。 (3) 問題はなく、適切である。 (4) 多摩川を中心とした鳥瞰図は第4学年「私たちの東京」の学習に活用できる。</p>	<p>(1) 都道府県全図、地方図、拡大図が順次組み合わせられて使いやすい。 (2) ・統計資料は地方ごとや州ごとに色分けされ、見やすい工夫がある。 ・索引も色分けされており見やすい。 (3) 表紙の装丁はよい。 (4) 首都東京の鳥瞰図があり、「私たちの東京」の学習に活用できる。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) 東京区部の児童にとっては、関連図が多く、親しみやすいと思われるが、多摩地区(八王子市含む)は二分され、小さい扱いで分かりにくい。各学年での活用を考えると、やや不十分である。 (2) ・同社の教科書を併用すると扱いやすい。 ・地図としては、工夫の余地がある。</p>	<p>(1) 地図の情報量が多い。 (2) 東京や多摩地区の扱いも見やすくなっている。より詳しい地図情報も加わり、総合的に優れている。</p>